

離任された先生

令和3年・2021年度	令和4年・2022年度	令和5年・2023年度
河井茂美（事務部長・再任退職） 村瀬径介（指導教諭・茨木工） 相良 周（数・退職） 田所大昂（数・吹田東） 赤穂和則（理・槻の木） 藤田祐美（英・教諭退職） 丹治由美子（英・教諭退職） 片山 滋（機・退職） 木村大貴（機・城東工） 藤本和男（機・期付） 中村隆夫（電・教諭退職） 上本嘉明（臨時技師・退職） 野口英機（技師・再任退職）	井上直人（准校長・茨木工定） 龍 忠男（教頭・今宮工） 光武厚子（国・再任退職） 村上雄哉（理・福井） 石山雄敬（体・箕面東） 清水至中（機・西野田工） 高林正幸（機・教諭退職） 長谷川義昭（機・期付） 北條雄大（電・兵庫県立西脇工） 津村明寿（化・堺工） 八反田誠二郎（化・神戸市立科学技術） 吉岡宏文（化・滋賀県立八幡工）	杉山裕二（校長・退職） 岩井大欣（数・箕面） 薄木智子（英・千里青雲） 森谷哲也（機・東淀工） 川尻秀樹（化・堺工定） 佐伯純子（養・箕面） 三谷達博（数・退職再任） 高崎賢一（体・退職） 苗木優二郎（機・奈良・御所実） 山本康二（機・退職再任） 井上浩司（電・退職再任） 乾 啓子（主査・退職再任・豊中） 岸本 均（国・再任退職）

卒業生数

大阪府立茨木工業高校（1～42期）

機械工学科	6,393 名
電子工学科	4,175 名
工業化学科	2,004 名
環境化学科	507 名

卒業生総数 合計 13,079 名

大阪府立茨木工科高校（1～16期）

機械系	1,676 名
電機系	896 名
環境化学システム系	705 名
工学系	171 名

卒業生総数 合計 3,448 名

編集後記

第12号をお届けさせていただきました。今号は8,500部の発送をしていますが、毎号多くの返送がございます。ぜひ、同窓会などで「茨陵会新聞」がお手元に届いていない方にホームページから現在のご住所をお知らせ頂くことをお伝えください。

これまで折に触れて学校の様子や後輩の活躍などをお伝えしておりますが、昨今、クラス数の縮小などによって学校活動やクラブ活動の運営が大変窮屈になってきておりコロナ以前のような運営が非常に厳しい状態となっています。

ぜひ、同窓生の皆様方でこれからも活気あふれる「茨工」の継続的なお力添えをいただきますようよろしくお願い申し上げます。

（編集担当：工業20C 諏訪 年信）



SHI RYO KAI 茨 陵 会

～大阪府立茨木工業・工科高等学校同窓会新聞第12号～

VOL.12

2023.10.10 発行

茨陵会事務局

大阪府立茨木工科高等学校内

〒567-0031 茨木市春日5丁目6-41
TEL:072-623-1331/FAX:072-623-0652



創立60周年を迎えた
茨木工業・工科高等学校の「現在」

～文化祭のお知らせ～

今年の文化祭は、**11月11日(土)**に予定されています。

ご来場の際は、コロナ対策の内容及び入場制限等について

学校ホームページをご確認の上お越し下さい。

◆学校HP URL: <http://ibaraki-kouka.jp/>

茨木工科高校のホームページ
<http://ibaraki-kouka.jp/>



茨陵会のホームページ
<http://www.shiryokai.com/>





茨陵会会長 本津 茂樹

茨陵会会員の皆様、
こんにちは。日頃より
同窓会活動へのご理解
とご協力を賜りまして、
誠にありがとうございます。
茨陵会会長の本
津茂樹と申します。ど
うぞ宜しくお願い致し
ます。

昨年、母校は60周年を迎えましたが、コロナ禍という社会情勢もあり、大きな記念式典は開催できませんでした。これまで同窓会新聞は2年ごとの発行となっておりましたが、今年は60周年事業の報告も兼ねて、昨年に引き続き同窓会新聞を発行することになりました。本冊子の発行するにあたり、多大なるご寄付を賜りました会員の皆様に、この場を借りまして心よりお礼申し上げます。

日本のものづくりの現場を支える中堅技術者を育成してきました工業高校の入学志願者数は、少子化に加えて大学進学を見据えた普通科高校への進学者の増加で、減少の一途をたどっています。「工業」だけでなく「科学」も含めた幅広い知識を学べる高校にする、「製造業」から「AI・IoT」に変わりつつある時代にふさわしい名称にするという狙いから大阪府ではいち早く「工業高校」から「工科高校」に改称しましたが、志願者数の減少傾向に歯止めをかけることはできておりません。これは中学生ばかりでなく保護者を含めた多くの方々に、工科高校への名称変更の意味が理解されていないような気がします。また、工業高校には「男性」というイメージが強く、女子志願者数が非常に少ないということも大きな問題だと思っています。現在、ものづくりや情報の現場では多くの女性が活躍され、能力においても性別差などは全くありません。それなのに工科高校を志望する女子がなぜ少ないのかを調査し、その改善策を考え、女子志願者の増加を考えるべきときではないでしょうか。私は、大学で学ぶ女子の母校卒業生との会話の中から、女子が学びたい工科高校にするには、今やるべ

きことは最先端の機器や装置の導入より女子学生が入学したい学舎にすること、例えばトイレ数を含めた女子トイレの整備等のキャンパス整備が最優先だと思っています。お金もかかる話ですので難しいとは思いますが、茨木工科高校が女子の入りたい一番の工科高校になることを祈っております。

さて、母校の状況につきましては長きにわたり、学校運営協議会委員として近くで見参りました。教育におきましては、PBL 学習に準じた少人数授業やICT を活用した授業の実施や、先生間の授業見学による授業改善に取り組まれてきました。また生徒指導におきましては、遅刻者の軽減、見だしなみ指導、交通安全指導、クラブ活動指導に先生方は熱意をもって取り組んでおられます。資格取得や就業体験にも力を入れられ、資格取得者数は増加し、就職内定率も希望者に対して100%を続けられています。さらには、新設された工学系大学進学専科では大学との連携授業の実施等により、年々理工系大学合格者数は増加しております。これらの取り組みの結果として学校教育自己診断アンケートにおいても生徒や保護者の方々から高い評価を受けておられます。もちろんこれらは生徒諸君の頑張りにありますが、先生方や職員の皆様の努力と熱意の賜物であることは間違いなく、心より敬意を表したいと思います。

今年着任されました藤原校長先生とともに、茨陵会は母校の発展のために引き続きできる限りの支援をしていく所存であります。今年からクラブ活動費の支援を行うことになっておりますが、今後は生徒の課題研究活動等にも支援をしていければと思っております。どうぞ会員の皆様におかれましては引き続きご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



校長 藤原 清隆

本年度、第二十代校長として着任しました藤原清隆と申します。同窓会の皆様には平素から母校の教育活動への御理解、御協力ならびに物心両面に渡る御支援に対しまして心から厚く御礼申しあげます。私自身、一日も早く茨木工科高校を理解し、地域の皆様の期

待を受け止めながら、同窓会の皆様や歴代の校長先生方が作り上げた歴史を継承しつつ、本校の未来絵図を確立させていきたいと考えております。同窓会の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことに伴い、ようやく本来の学校教育活動が戻りつつあります。「アフター・コロナ」という表現もできた中で、コロナ禍前と後の学びの内容や今までの日常生活の常識が大きく変わり、誰もが経験したことのない、そして先の見えない状況のなかで、苦労を重ねてきた在校生たちは非常によく頑張っています。より一層、ものづくりの実習や地域連携、学校行事、部活動を通して、夢をもち、自立して未来への道を切り拓く人づくりを推進しています。

さて、私ごとですが4月に赴任してきて、昨年、創立60周年を迎えた伝統のある本校の生徒の登下校風景や学校での教育活動を目にして、本当に素晴らしい学校であるとの感想を持ちました。専門的な知識と技術を身に付けた将来のスペシャリストをめざすべくプライドが受け継がれているのではないかと思います。それらの活動を通して、卒業後は即戦力として産業界を支え、地域社会に貢献できる人財育成を推進していると確信しています。

令和4年度卒業生の進路状況につきましても、就職希望者の内定率 100% を継続しており、難関といわれる企業への就職も果たしています。そして、4年制大学、専門学校等への進学者も約3割におよび、生徒のニーズに応えるべく丁寧な指導が展開されてい

ます。各方面でご活躍の卒業生の皆様におかれましては、本年の卒業生へのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今後も職員一同手を携えて同窓生の皆様が母校茨木工科高校の卒業生であることを誇りに感じていただけるよう努力邁進してまいります。

結びに本校同窓会の益々の御発展と皆様の御健勝を心より祈念申しあげまして、ご挨拶といたさせていただきます。





第12号の表紙について

学校周辺の今昔

表紙ではグラウンド上空から高槻方面に向けた空撮写真を採用しました。

学校のすぐ上には、かつて松下電器テレビ事業部の工場がありましたが、現在は正面がAmazonの配送センター、左隣にはヤマト運輸の関西ゲートウェイベースが建ち、その様相もすっかり変わってしまいました。

そこで、今回は川崎副会長秘蔵の昭和40年頃の茨木を写真をご提供いただき、その頃を振り返っていただければと思います。



2000年頃



2023年

“昭和40年頃の街並み”



国鉄茨木駅



中央公園



茨木市役所



春日5丁目・倍賀池の横の養鶏場
(学校グラウンドのすぐ近く)

新聞発行に際して、ご寄付のお願い

平素は、本会の運営にご支持、ご理解いただきありがとうございます。同窓会新聞も今回で第12号を発行する運びとなりました。皆様方からは、毎号多大なるご寄付をいただき、順調に新聞を発行できておりますことを、理事一同、感謝いたしております。

今回も新聞発行費用の寄付を募っております。1口1,000円として、何口でも結構ですので、同封の振込用紙にて、振込みいただければ幸いです。(振込手数料が110円かかります)

事情と趣旨をご理解いただき、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

茨陵会 理事会だより

茨陵会は、会則により理事が運営権を受託しており毎年1回理事会を開催して以下の事柄について審議を行っています。また、会則変更など必要に応じて総会を開催します。

令和5年は6月3日(土)13時より母校会議室にて次の事柄を審議、承認しました。

- ① 令和4年度 事業報告、承認
- ② 令和4年度 会計決算の報告、承認
- ③ 令和5年度 会計予算の提案、承認
- ④ 令和5年度卒業記念品について提案、承認
- ⑤ 本年の新聞発行について
- ⑥ その他(役員人事及び役割分担など)

写真は現在の理事です。



堀田理事、諏訪理事、杉本理事
高林理事、川崎副会長、本津会長、高嶋副会長、長谷川理事

決算報告

令和4年度 茨陵会 決算書

収入の部

単位:円

科 目	予 算	決 算	増 減	備 考
繰 越 金	3,790,357	3,790,357	0	
会 費	1,170,000	1,157,000	▲13,000	3月入金@6500円②
Wi-Fi会費	38,500	38,500	0	3500円×11名
新聞賛助金	500,000	510,389	10,389	
雑 収 入	569	26	▲543	銀 行 利 息
合 計	5,499,426	5,496,272	▲3,154	

支出の部

単位:円

科 目	予 算	決 算	増 減	備 考
総 会 費	10,000	0	10,000	
通 信 費	50,000	0	50,000	
印 刷 費	50,000	0	50,000	
慶 弔 費	100,000	87,000	13,000	
会 合 費	70,000	16,948	53,052	
事 務 費	180,000	61,355	118,645	
新入会員歓迎費	250,000	178,110	71,890	印 鑑 代
積 立 金	2,000,000	2,000,000	0	事業基金 項目へ
広告宣伝費	400,000	56,540	343,460	HP管理費等
新聞発行費	0	1,057,267	▲1,057,267	
予 備 費	2,389,426	0	2,389,426	
合 計	5,499,426	3,457,220	2,042,206	

収入の部合計
¥5,496,272

—

支出の部合計
¥3,457,220

=

差引き繰越金
¥2,039,052

以上、報告します。 茨陵会 会計担当 堀田 隆志
※その他の年度につきましては茨陵会HPをご覧ください